

やましたの「^{いっさつ}今月の逸冊」

僕が本を読む理由は、考え方・価値観を広げるため。自分の知識や知恵なんてちっぽけなものだ。広げるためには、ある程度情報のインプットが必要だ。それには本が一番投資対効果が高い。たかが1500円程度の投資で、10数倍の価値を得ることがある。それはお金だけではなく、これからの生き方として、人生の糧となる。だから僕は今日も本を読む。



すべての日本人に感じてほしい魂の昭和史 ／ 福田 和也 (著) ¥689

-Amazonより内容紹介-

本書は、世界の動きを追いつつ、大きな流れの中で昭和史を捉え直す。歴史は単に年表を追うものでも、他人事として裁くものでもない。時代の波に翻弄され続けた先人たちの喜びや悲しみ、誇り、戸惑いなどに思いを馳せれば、歴史はもっと身近になる。すべての日本人が自分に直接かかわる問題として共感できるようやさしく語りかける、渾身の一冊。こんな歴史観があったのか。

◎歴史を、心で感じると伝わり方が半端ない！！

僕は歴史が苦手です。桜田門外なんて言われても、ピンと来ません（汗）しかし、歴史を知っている人は何かカッコイイ・・・（笑）だから懂れています。歴史というのは、人間が行ってきた事実（捉え方は様々ですが）です。だから人間を知るには、歴史を知っていると分かりやすいと言われます。1000年くらいで人間の考えなんて変わりません。だから同じことを繰り返すのです。

ただ歴史の勉強をしようと思って始めても長続きしませんでした。しかし、この本に出会って「歴史って面白いじゃん！」と思いました。“日本人”という視点で書かれているところが素晴らしいです。このように何か新しいことを勉強しようとしたら、こういった分かりやすく、興味をそそられる本を最初に読むことが大事だと思います。漫画でもOKでしょう！

まだなんちゃってなので歴史のことは語りません（笑）この本のように、仕事においても感情で伝えると分かりやすいと思います。人間とういのは、自分の思った通りにしか動きません。だから動くためには何かしらの感情が必要です。人間が行動する感情は2つあって、「苦を避ける」か「楽になる」のどちらかと言われています。

それをしないことにより、“苦”があるのであれば、人間は動こうとします。一番分かりやすいのは、今月売上が足りないから何かしら対策を考え、行動します。しかし、安定していれば特にそこまで焦って考えず、行動もしないでしょう。だから、苦の方が先に動こうとします。次に、“楽”になると思うと行動します。これを買えば時間が短縮できる、作業が簡単になるなど、自分が楽になると思えば、人間は行動します。これも分かりますよね。このような事を意識して商品・サービスの説明をすると良いでしょう。

本の話に戻りますが、僕は日本人です。だから日本人ってどういう考えで生きてきたのか？ということを知るのは大切なことです。最近はテレビでも海外の情報が多いですが、海外の人とコミュニケーション取るとしても、言葉は英語かも知れませんが、海外の人が聞きたいのは“日本”のことでしよう。自分の国のことを知らないとコミュニケーションが出来ません。ゆっくりですが、もっと日本のことを勉強しようと思った一冊でした。